

平成29年12月25日

## 積雪期における事故等の防止について

北海道札幌東豊高等学校

道内において、地域によっては例年より早い積雪により歩道が通行できない状況や、道路脇に高く積もった雪山により、歩行者の様子が周囲から見渡せない状況となり、交通安全や防犯の観点から課題が生じております。冬季休業中ですが、下記のこと十分に注意をして、積雪期における事件、事故等の未然防止に努めてください。

### 記

- 1 積雪期には、スリップや視界不良などによる冬型の交通事故が多く発生していることから、道路を横断する際の安全確認等を十分に行うこと。
- 2 道路脇に高く積もった雪山での雪遊びやそり遊びは絶対に行わないことや、屋根の下など危険が予測される場所を避けて通行すること。
- 3 道路脇に高く積もった雪山により、歩行者の状況が周囲から見渡せないことは、防犯上、課題があることから、外出した際に不審者を見かけたり、犯罪につながる事態が起こったりした場合は、「いかのおすし」という合い言葉で示された、大声を上げる、教職員や保護者に知らせる、交番や「子ども110番の家」に駆け込むなどの対応を行うこと。
- 4 児童生徒が個人やグループで外出するときには、事前に、行き先、帰宅の予定日時、同行者等を家庭に知らせること。

### 合い言葉「いかのおすし」

- ・「いか」ない（行かない～知らない 人について いかない）
- ・「の」らない（乗らない～知らない 人の 車に のらない）
- ・「お」おごえをだす（大声を出す～「助けて!!」と 大きな声を出そう）
- ・「す」ぐににげる（すぐに逃げる～こわかったら 大人の いる方に すぐにげる）
- ・「し」らせる（知らせる～どんな 人が 何を したか、家の 人に 知らせる）